

共同利用実施報告書(研究実績報告書)
(災害軽減研究)

1. 課題番号 2014-Y- 史料1 (※))

2. 研究課題名 (和文、英文の両方をご記入ください)

和文：史料にもとづく北海道渡島大島火山寛保噴火による山体崩壊とマグマ活動に関する研究

英文：The eruption and collapse events of Oshima-Ohshima Volcano starting in 1741AD, reconstructed by using old documents

3. 研究代表者所属・氏名 千葉大学・津久井 雅志

(地震研究所担当教員名) 企画部

4. 参加者の詳細 (研究代表者を含む。必要に応じ行を追加すること)

氏名	所属・職名	参加内容
津久井雅志	千葉大学大学院理学研究科・教授	史料収集・分析・総括・公表

5. 参加者が分担した役割 (200-400 字程度で記入してください)

北海道立図書館，北海道立文書館，北海道大学附属図書館北方資料室，函館市中央図書館，松前町教育委員会，青森県立図書館，弘前市立図書館，八戸市立図書館，致道博物館（鶴岡市），新潟県立図書館，敦賀市立博物館，国立国会図書館，国立公文書館，国文学研究資料館の所蔵資料から関連史料を収集した。

これらの史料を検討した結果，

- ・従来知られていた以上に頻繁に小規模の降灰，臭気の観測記録があり，給源が渡島大島の可能性が高いことがわかった．寛保元年（1741 年）以降，微量の火山灰が数年から 10 年おきに 50 年にわたり繰り返したことがわかった．

- ・寛保元年七月十九日（1741 年 8 月 29 日）津波について，あらたに山形県鶴岡市『鶏肋編（けいろくへん）』，新潟県村上市『記事別集』に津波到来記事があることを確認した．

6. 研究実績 (論文タイトル、雑誌・学会・セミナー等の名称、謝辞への記載の有無)

「渡島大島噴火史料集」約 70 p を，2015 年 9 月刊行をめざして作業中．